


抗議状及び公開質問状

平成 27 年 6 月 1 日

東京都中央区築地 5 - 3 - 2
株式会社朝日新聞社東京本社
代表取締役社長 渡辺雅隆 殿
報道・編成局長 殿

通知人 水島 総 
東京都渋谷区渋谷 1 - 1 - 16 若草ビル 1 階
株式会社日本文化チャンネル桜
代表取締役社長
「頑張れ日本！全国行動委員会」幹事長
「朝日新聞を糺す国民会議」事務局長
「朝日新聞集団訴訟原告団」事務局長

他 上記団体会員

平成 27 年 5 月 29 日の貴紙朝刊は、秋山
惣一郎記者の署名記事「NEWS Q3」にお
いて、「昨日の友は今日の…保守系に異
変？」という見出し、そして、小見出しで
は、「政治資金巡りお互いに批判」「14年
都知事選確執生まれる」「打倒民主政権共通
の敵失う」というタイトルで、日本文化チャ

ンネル桜代表取締役社長、「頑張れ日本！全国行動委員会」幹事長、「朝日新聞を糺す国民会議」事務局長、「朝日新聞集団訴訟（原告数2万5千7百名）原告団」事務局長である水島総とその活動について、見出しや小見出しの編集方針と意図の下、田母神俊雄氏の「関係」についての記事を掲載した。

また、記事の脇には写真付きの「田母神俊雄氏の政治の歩み」と題する年表風の項目も掲載されていた。

まず、第一に指摘したいのは、本記事の中に、明らかに事実を反した捏造わい曲記述があることだ。

この記述は、日本文化チャンネル桜社長という役職だけではなく、「朝日新聞を糺す国民会議」事務局長、「朝日新聞集団訴訟原告団」事務局長、頑張れ日本！全国行動委員会幹事長でもある水島総個人と諸団体の名誉と信用を貶める、あるいは貶めようとする、極めて悪質な「政治的意図」と集団提訴されたる「朝日新聞」擁護のための記事となっていることである。

法的にも、水島個人と関連団体に関する名誉棄損と信用棄損が明らかな捏造記事である。

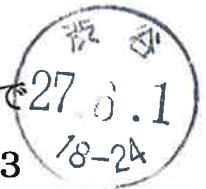
1.1
24



本記事の中で、『しかし2月、都知事選
集めた政治資金約1億2千万円のうち、約3
千万円を田母神氏の事務所スタッフが流用し
ていた、と水島氏がCH桜で公表した。「選対
本部長だった私にも問題を明らかにする責任
がある」と水島氏は言う。』とあるが、これは
全く事実では無い。

3千万円私的流用がされていたと最初に発
表したのは、2月19日の田母神記者会見に
おいてであり、朝日新聞社記者からの質問に
答えて、田母神氏と同伴協力者で進行役をし
ていた犬伏秀一現大田区議が、双方とも、約
3千万円から4千万円の私的流用(横領)が
あったと答え、明らかにしたものだ。

水島は2月17日、チャンネル桜の番組の
中で、週刊誌等から田母神事務所の政治資金
の流用疑惑の取材があったこと、その疑惑解
明のために、情報公開を田母神氏自ら行うべ
きだと述べただけである。この時点で、水島
は「事務所スタッフが流用」などと全く特定
もしておらず、むしろ、内部情報によって、
田母神氏も含む事務所ぐるみの横領買収疑惑
を抱いていた。だから、柔らかな表現で、田
母神氏に自らの手による疑惑解明と情報公開
を求めたのである。



1字加2入



この水島の番組放送も記者会見映像も、インターネット上にも公開されており、捏造された記事であることは明白である。

また、秋山記者は、水島を取材に訪れており、その際にも、関連映像を全て視聴しているとも述べており、水島が最初に3千万円の横領を発表したなど無いことは知っているはずである。さらに、秋山記者は、取材の際、ボイスレコーダーで水島の言葉を収録しており、水島がそのような「事実」を証言したなど無いことを承知しているはずである。また、秋山記者は、朝日新聞記者として、ジャーナリストとして、完全失格とも言える捏造わい曲記事を書いたと言わざるを得ない。

その悪質な印象操作記事の証拠がある。秋山記者と貴社は、当該記事の脇に掲載した写真付きの「田母神俊雄氏の政治の歩み」と題する年表風の記述において、2015年2月の項目で、「事務所スタッフによる政治資金の使い込み問題を公表」と明確に田母神氏が公表したと記述しているのである。

この秋山記者の捏造記事と、そして朝日新聞の紙面掲載は、秋山記者と貴社が、意図的に、水島があたかも「喧嘩を仕掛けた」のごとく記述し、小見出し通り、水島と田母神

氏との保守同士の「確執」とする印象操作記事
事を掲載したと判断する証拠でもある。

なぜ、このような捏造と印象操作の記事が
書かれたかという理由は、明白である。水島
は、日本文化チャンネル桜の番組で一貫して
朝日新聞批判を行って来た人物であり、ま
た、朝日新聞糾弾運動や朝日新聞不買運動、
百万人署名運動等を推進する国民運動団体
「頑張れ日本！全国行動委員会」幹事長であ
り、また、「朝日新聞を糺す国民会議」事務
局長、「朝日新聞集団訴訟（原告数2万5千
7百名）原告団」事務局長であるからであ
る。

秋山記者はそのことを熟知しており、だか
らこそ、水島や関連団体に対する信用棄損や
名誉棄損とならぬよう、細心の注意を払い公
平で正しい事実を記事にすべきだったが、そ
うせずに、結果としては明らかな朝日擁護の
ための「ちょうちん記事」を書き、朝日新聞
はそれを掲載したのである。

この捏造記事に、悪質な意図は無かった
と、貴社は否定するかもしれない。しかし、
結果としては歴然とした、水島やその所属す
る団体に対する悪質な印象操作になり、7百
万と自称する朝日新聞読者のことを考えれ

1
24

ば、大マスメディア朝日新聞が、巨大な情報
伝達手段を利用して、水島がリーダーとなっ
て活動する「頑張れ日本！全国行動委員会」
「朝日新聞を糺す国民会議」「朝日新聞集団
訴訟原告団」の活動や目的を貶め、名誉と信
用を棄損する政治的圧殺と弾圧行為や謀略政
治プロパガンダ行為となっている。
すなわち、捏造記述は、日本裁判史上最大
の2万5千7百人の原告団によって朝日新聞
社を提訴した「朝日新聞集団訴訟」のリーダ
ーである水島総を直接的、間接的に貶めるこ
とによって、その国民運動を報道記事の装い
をもって攻撃、または貶めようとする記事と
なっている。

繰り返すが、秋山記者と貴社は、その意図
を否定したとしても、結果として、このよう
な事実を捏造わい曲した記事は、朝日新聞糾
弾の国民運動に対する朝日新聞というマスメ
ディアによる言論弾圧、政治弾圧であり、悪
質な政治的プロパガンダ記事と断定されても
仕方無いのである。

同時に、この捏造わい曲記事は、水島総個
人への重大な名誉棄損でもある。貴社は、慰
安婦問題について、吉田清治の捏造と嘘を放
置して来たが、それと同様、何の反省も無

く、再び、悪質な事実に反する記事を書いて掲載した。自らの朝日新聞社体質を改善し、反省するという姿勢は一切なく、自らと政治的立場を異にする人間や団体を貶め、攻撃する陰險な謀略体質が、全く直っていないことをこの記事は、如実に示している。

第二に指摘するのは、以下の記事の記述である。『後日、釈明会見を開いた田母神氏は「私の監督不行き届き」と謝罪する一方、「都知事選後に水島氏から残金を水島氏側の政治団体へ移すよう求められた」とぶちまけた。水島氏は猛反発し、CH桜で「疑惑は3千万円にとどまらない」と追及を続けた。』と記述された記事は、明らかに悪意ある捏造わい曲である。

「ぶちまけた」と言う表現は、言った、述べた、話したとは異なる、乱暴で感情的、あれる意味、下品とも言える表現である。「猛反発」も同様である。「反論」ではなく、猛「反発」という感情表現も、みっともない喧嘩や泥仕合をする水島とその関連団体という印象操作を狙った記述と断定されるものだ。

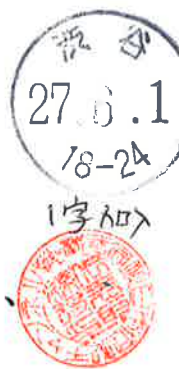
というのも、秋山記者自身が知っていながら、あるいは、水島から指摘されながら記事にしなかった重大事実があるからだ。田母神

27.6.1
18-24

1字加へ

氏とその周辺人物から、5月23日のインタ
ネット放送番組内で、選対本部事務局長島
本順光氏から、金銭をあなたに配りたいとの
申し出があったが断ったとの買収犯罪証言が
あったことだ。つまり、田母神氏と周辺人物
たち（南出弁護士も含む）自身も、「田母神
としおの会」内部で、横領犯罪と買収犯罪が
あったことを認めている。にもかかわらず、
秋山記者は、その事実を自身で知りながら、
あるいは水島から、これは喧嘩でも確執でも
保守の亀裂でも無い、「田母神としおの会」
事務所内部で起きた犯罪に対する内部告発だ
との本質的事実を告げられたにもかかわら
ず、事件の本質を報道しようとはせず、保守同
士の亀裂や確執、喧嘩といったネガティブキ
ャンペーンの記事を書く方針を変えようとは
しなかった。

僅かに、水島からの強い申し出と警告に、
一応は水島の言葉「決して保守の泥仕合や内
紛ではない。正義を貫き、不正の真相を解明
する責任を果たすためだ」という、記述はし
ながら、しかし、あくまで水島の「言い分」
としてだけ扱い、田母神氏の「けんか」とい
う表現に対比する形で記事にしたのである。
まことに悪辣、狡猾、卑劣な捏造わい曲記事
と言うほかない。



また、「水島氏から残金を水島氏側の政治団体へ移すよう求められた」とあるが、「水島氏側の政治団体」とは、平成22年2月結成以来、昨年の夏まで約5年間にわたってそのトップの会長を務めて来た「頑張れ日本！全国行動委員会」であり、田母神氏はその時全点では会長職を務めており、集会や街宣にも参加していたのである。全く事実と異なる捏造の曲記述であり、前述の水島が3千万円桜合の事務所スタッフの私的流用をチャンネルで暴露したからという捏造記述と無理に整合させるための悪辣な意図的捏造曲記述である。

当該記述『後日、釈明会見を開いた田母神氏は「私の監督不行き届き」と謝罪する一方、「都知事選後に水島氏から残金を水島氏側の政治団体へ移すよう求められた」とぶちまけた。』は、5月23日のインターネット番組でも田母神氏は述べているが、これは全く事実を曲した表現である。選挙後、「東京を守り育てる都民の会」の都知事選関係の残金を田母神氏の国政目的の資金に変えるならどういう方法があるかの相談があった時、田母神氏が会長である「頑張れ日本！全国行動委員会」の本体の口座とは別に開設している諸口座（尖閣支援金や東北支援活動

等)と同様に、口座を作れないだろうかという一案を示したことを、田母神氏がことさらわい曲して捏造発言をしたものである。

秋山記者にはこの事実を伝えたが、意図的に無視された形で、悪意ある捏造記事が書かれた。改めて指摘しておかねばならないのは、秋山氏の政治的願望に反して、現実に水島には全く、金銭を不正に扱おうとした行動も意図も無く、金銭の移動も無論無かったという事実である。選挙期間もその後、水島は金を一切受け取っていないし、交通費すら受け取っていない。そして、秋山記者は報道しなかったが、「喧嘩」では無く、当事者たちも認めている横領と買収犯罪が、田母神氏自身が会長を務める「政治団体田母神としおの会」(旧東京を守り育てる都民の会)で起きているという厳然たる事実である。

秋山惣一郎記者と貴社の悪質な意図は、水島が2万5千7百人の原告団の先頭に立って朝日新聞の捏造わい曲報道を糾弾し、集団訴訟を行っているのと同様に、「田母神としおの会」の横領、買収犯罪を糾す正義の戦いをしている国民に知らせたくなかったからである。

5.1
24



その悪意ある記事に証拠の一つがある。保守の内紛や亀裂、確執であるとした朝日新聞や秋山記者の主張は、かつてチャンネル桜でレギュラー番組のキャスターをしていた古谷経衡氏を「保守評論家」として、ことさら「選んで」「登用」したことに証されてい
る。古谷氏には、「それらしい」「分析」をさせて、水島や、朝日新聞と対立する諸団体を貶め、信用や名誉棄損行為を行ったことである。

当該記事掲載の翌日、古谷氏から水島は電話連絡を受けた。古谷氏は前後の話を削除されてしまったとして、自分の意図とは違う記事となってしまうと水島に伝えて来た。また、秋山記者から、水島が抗議活動を起こすのだからと古谷氏に問うてきたことも話した。秋山記者自身が、水島や関連団体が怒ることを予想していた「捏造わい曲記事」の自覚を持っていた証拠でもある。

私たちは、満腔の怒りを持ってこの卑劣な捏造わい曲と朝日新聞「擁護」宣伝記事に対処して、断固抗議し、水島総個人と水島が指導的立場にいる日本文化チャンネル桜、及び国民運動団体に対する訂正と謝罪記事掲載を貴紙の紙面上において、5日以内に、当該記事

1.1
24



27.6.1
18-24

と同じスペースを使い、行うことを強く要求し、返答を求める。

不誠実な対応を行うならば、法的な手段に訴えるだけでなく、捏造わい曲行為に対する更なる戦いを行うことを通告する。

この郵便物は平成 27 年 6 月 / 日
第 47878 号書留内容証明郵便物として
差し出されたことを証明します。
日本郵便株式会社

27.6.1
18-24

27.6.1
18-24

郵便保証司
平成27年6月 1日

